

今月の実践発表

- ★片山康宏先生（姫路・書写養護学校） 「養護学校で学んだこと」
★大川知子先生（川西・加茂小学校） 「懇談会でこんなことをしました」

はじめが肝心。 4月、学級開きをどうするか？

「このクラスなら がんばれそうだ」 「この先生となら、やれるかもしれない」

「この先生と一緒にがんばりたい」 「明日、学校に来るのが楽しみだ！」

始業式が終わって、子どもが家に帰ったとたんに「お母さん、今度の先生ね・・・」
と目を輝かせて報告する子どもにしたい そんないい出会いをつくりましょう。

1. まずは教室をきれいにすることから。

- ・以前の教室は3月末にはきれいにして返すことが礼儀。 立つ鳥跡を濁さず
- ・心を込めて机や窓や床を磨く。 そうしながら自分の心も真っ白になっていく。
- ・黒板に何を書くのか？ 一人ひとりの名前と一言が書いてあると「わぁ」
- ・「〇〇くそ」「〇〇合う〇〇」「切〇〇磨」「〇な〇の力」 除幕式？のセット

2. あいさつは、むちゃくちゃ考える

- ・赴任のあいさつ（朝礼台）→ 全校生に名前を覚えてもらうには、ありきたりのあいさつではダメ。全校生の目を釘付けにするあいさつとは？
自分の得意を生かす 縄跳び、リコーダー、じゃんけん、かけっこ、
- ・教室でのあいさつ →私は「こんな学級をつくりたい」のメッセージをどう伝えるか
ただ普通に言うのではなく、ユーモアのある工夫を 人形、スケッチブック、絵本
「心をひとつに」「おなかの力」「けっしてあきらめない」「命の使い方」「優しい人」
- ・一人ひとりの名前は必ず呼んでやる。笑顔が一番。握手・・・。

3. 連絡帳に必ず一言書き入れておく

- ・一言書くか書かないかは、後々大きく響いていく

4. 初日から学級通信を発行すると、意気込みが子どもにも保護者にも伝わる

- ・第1号は、自己紹介でもいい、そこから「出会い」「気づき」「広がり」がある

5. 初日から遊ぶ！

- ・この先生は「遊んでくれる」→この印象は大きい。たとえ5分でも遊ぶことが大事、それも外遊び → 一番後ろにいる子を必ず見ておく →翌日はその子を一番に・・・

6. 5分間家庭訪問・・・4月中にどれだけ行けるか 教育は「今日行く」こと

※ 来月の予定

- ・4月21日（土） ・遠足で子どもを育てる方法とアイデア ・いじめをなくす方法